

東大和南 高等学校 令和6年度（1学年用） 教科 芸術 科目 美術Ⅰ

教 科： 芸術 科 目： 美術Ⅰ 単位数： 2 単位

対象学年組：第 1 学年 1 組～ 7 組

教科担当者：伊藤和美

使用教科書：（ 高校生の美術 1 < 日本文教出版 > ）

教科 芸術 の目標：

【知 識 及 び 技 能】芸術に関する各科目の特質について理解するとともに、意図に基づいて表現するための技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】創造的な表現を工夫したり、芸術のよさや美しさを深く味わったりすることができるようにする。

【学びに向かう力、人間性等】生涯にわたり芸術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養い、豊かな情操を培う。

科目 美術Ⅰ の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めるとともに、意図に応じて表現方法を創意工夫し、創造的に表すことができるようにする。	造形的なよさや美しさ、表現の意図と創意工夫、美術の働き等について考え、主題を生成し創造的に発想し構想を練ったり、価値意識をもって美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができるようにする。	主体的に美術の幅広い創造活動に取り組み、生涯にわたり美術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、美術文化に親しみ、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	表現				評価規準	知	思	態	配 当 時 数
			絵 ・ 彫	デ	映	鑑 賞					
1 学 期	A 単元 教科書作品鑑賞・発表 【知識及び技能】 ・教科書の作品について基礎的な知識を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 ・好きな作品について詳しく分析しレポートにまとめる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・上記の作品について考えを整理し発表する。	・指導事項 美術の様々な分野についての解説すると共に、教科書の作品について歴史や文化を踏まえた概説を行う。 ・教材 教科書 高校生の美術	○	○	○	○	・意欲的、主体的に制作に取り組んでいたか。 ・好きな作品について自分なりの解釈を交えながら詳しく分析し、伝わりやすい表現でレポートにまとめられているか。 ・模写は限られた時間の中で、一部でも正確に捉えようとする努力の跡が見られるか。	○	○	○	2
	B 単元 鉛筆デッサン基礎 【知識及び技能】 ・鉛筆の削り方、使用方法、基礎形態の捉え方を学ぶ。 【思考力、判断力、表現力等】 ・正確な形の捉え方や立体感の表現方法を、実践しながら学ぶ。 【学びに向かう力、人間性等】 ・事後レポートにこの単元の学びについてまとめる。	・指導事項 鉛筆の削り方や、鉛筆の使用方法、また形の捉え方をデッサンの模写を通して指導する。また、デッサン模写で学んだ形態の捉え方を応用し、自らの手を立体的に表現する方法を習得させる。 ・教材 教科書、基礎形体デッサン見本シート等	○	○		○	・意欲的、主体的に制作に取り組んでいたか。 ・デッサンに使用する鉛筆の削り方ができているか、3種類の基礎形態が適切な鉛筆の使用によって立体的に表現できているか。 ・基礎形態のデッサンで学んだ描き方を応用して、自らの手を立体的に表現できているか。 ・制作後の振り返りの感想等が、よく考えたうえで記入できているか。	○	○	○	4
	C 単元 対照的なイメージによる色彩構成 【知識及び技能】 ・色相、明度、彩度といった色彩の基礎知識について学び、作品の制作を通して色彩の違いによるイメージの違いについて実感する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・モチーフを効果的に単純化し、イメージした通りの対称作品となるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 ・振り返りシートにこの単元の学びについてまとめる。	・指導事項 色彩の基礎知識、形の単純化の方法、アイディアスケッチの方法、トレースの方法、色づくり、ベタ塗りの方法等。 ・教材 教科書、色彩見本シート、色立体、配色カード、参考作品、ICT機器を使用した色彩の解説等。				○	・意欲的、主体的に制作に取り組んでいたか。 ・明度、彩度、色相についてしっかり理解できたか。 ・二つの作品は全く同じ形でありながら、色彩の違いにより対照的なイメージとすることができたか。 ・ベタ塗りで丁寧に着色し、はみ出たり汚れた箇所は白色で修正できているか。 ・制作時間なりの完成度の作品となっているか。 ・制作後の振り返りシートについて、自分の作品についてよく分析した上で、記入できているか。	○	○	○	14
2 学 期	D 単元 油彩画制作 【知識及び技能】 ・油絵具の使用方法について学び、伝統的な表現技法を用いて、写実的な作品制作を行う。 【思考力、判断力、表現力等】 ・F6号キャンパスに、自分の個性が発揮されるようなモチーフを選択し、より高い完成度を目指し粘り強く制作する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・振り返りシートにこの単元の学びについてまとめる。	・指導事項 油彩道具の使用方法、準備の仕方と片付けの方法、油彩技法の特徴について、立体感、空間感の表し方について、自然な色の出し方について等。 ・教材 教科書、ICT機器による油彩画名画の鑑賞、参考作品等。	○			○	・意欲的、主体的に制作に取り組んでいたか。 ・良い構図でF6号キャンパスに収めることができたか。 ・油絵道具の使い方を理解し、適切に扱うことができたか。 ・適切に陰影を表現し、写実的、立体的に描くことができたか。 ・混色によって自然な色あいの作品とすることができたか。 ・制作時間なりの完成度の作品となっているか。 ・制作後の振り返りシートについて、自分の作品についてよく分析した上で、記入できているか。	○	○	○	18
	E 単元 そっくりに造る（立体造形） 【知識及び技能】 ・石塑の特徴を理解し立体造形の作り方について学ぶ。 【思考力、判断力、表現力等】 ・各々のモチーフをよく観察し、形状や表面のテクスチャー、色について試行錯誤しながら再現していく。 【学びに向かう力、人間性等】 ・事後レポートにこの単元の学びについてまとめる。	・指導事項 立体造形の制作方法、石塑の扱い方、紙やすり、棒やすり等の使用方法、自然な色の作り方等 ・教材 教科書、自分で用意したモチーフ、参考作品等	○			○	・意欲的、主体的に制作に取り組んでいたか。 ・モチーフをよく観察し、構造を考えながら造形することができたか。 ・石粉粘土の特性を活かし、できる限り細部までモチーフに近づくように造形できたか。 ・モチーフをよく観察し、そっくりな色になるように試行錯誤して色を作り着色することができたか。 ・制作後の振り返りシートについて、自分の作品についてよく分析した上で、記入できているか。	○	○	○	12

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	表現			鑑賞	評価規準	知	思	態	配 当 時 数
			絵・ 彫	デ	映						
3 学 期	F 単元 レタリングによるポスター 【知識及び技能】 ・レタリングについて学び、文字だけで効果的なポスター制作する方法について学ぶ。 【思考力、判断力、表現力等】 ・自分が選んだ「好きな言葉」について、文字の色や形、配置だけどのように効果的にそのイメージを伝えられるかについて試行錯誤しながら制作する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・事後レポートにこの単元の学びについてまとめる。	・指導事項 明朝体やゴシック体の書き方、文字の変形の仕方、効果的な配置方法等 ・教材 教科書、レタリング見本帳、自分で用意した言葉、参考作品等		○		○	・意欲的、主体的に制作に取り組んでいたか。 ・明朝体やゴシック体の特徴について理解できたか。 ・「好きな言葉」の内容やイメージが伝わるように、書体、構成、配色を工夫することができたか。 ・制作時間に応じて、丁寧に仕上げることでできたか。 ・制作後の振り返りシートについて、自分の作品についてよく分析した上で、記入できているか。	○	○	○	18
	F 単元 社会問題をテーマにしたフォトコラージュ制作 【知識及び技能】 ・フォトコラージュという技法が生まれた背景を美術史の流れをたどりながら理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・様々な社会問題の中からより自分が表現してみたい問題について取り上げ、見る人に伝えるように配置して表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・お互いの作品を鑑賞しあい、感想を述べ合う。	・指導事項 ダダイスムという美術運動についての解説、西洋美術史の簡単な流れについて、良い画面構成の例、悪い例について解説。 ・教材 教科書、自分で用意した写真、ICT機器による作品の鑑賞、参考作品等				○	○	・意欲的、主体的に制作に取り組んでいたか。 ・伝えたいイメージが伝わるような配置になっているか。	○	○	○